



CLUB OFFICE  
京都YMCA 三条本館  
京都市中京区三条通柳馬場角  
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS  
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2011

9

Bulletin

2011.9.1発行

第26巻第2号通巻308号

主  
題

**国際会長** Audere est Facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る  
**アジア会長** To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る  
**西日本区理事** ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 理想を目指して変革と行動！  
**京都部部長** 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ~思いやりと感謝の気持ちで粘り強く~  
**メネット主任** メンと共に歩める喜び

聖  
句

受けるよりは与える方が幸いである。

使徒言行録20章35節



## 『プリンスクラブ 三代目会長に選ばれて』

第三代会長 渡邊 公生

広井初代会長、早崎二代目会長の後を受け当時34歳でした。パレスに入会してそしてプリンスのキーメンバーとしてプリンスを作るお手伝いをさせていただきました。創設前から三代目の会長として指名していただいた時、わくわくしながらも、先輩のワイズを差し置いてのことであるが故にその重みを日に日に感じていました。「本当にできるのかなあ」と思いつつ、「やればできる」と自分に言い聞かせ、自問自答する毎日でした。

標語は、「レッツゴー青春」、自分でも吹いてしまいそうな標語でした。しかし、会長として本来ならば率先してクラブを引っ張っていかねばならないその年に、個人的な大きなことが目前にありました。それは仕事に必要な資格、一級建築士の受験が控えていたのです。クラブの期首は7月、試験も7月、次期会長として準備中に受験勉強をしなければならず、一時間でも一分でもおいしいそんな日が続きまして。ある時、副会長以下三役が「会長は合格を目指してください。クラブは前半の半年間我々が引っ張っていきます。」そう言ってくれました。本当に心から感謝し、ワイズ仲間の温かい心が嬉しくて、嬉しくてたまらかったことを思い出します。おかげで一発で合格しその発表の日、メンバーみんなに電話を入れ感謝の気持ちを伝えました。良い三役に恵まれ本当の仲間と強く感じました。

私の期で一番の大仕事だったのは、台湾のクラブとのブラザー締結でした。締結の是非を巡ってクラブ内は賛成反対の真っ二つに分かれました。そんなクラブの会長として私はしてはいけない不適切な行動をとっていました。賛成者の意見には耳を貸し、気持ちのいい言葉に酔いしていました。逆に反対者の意見は聞く前から、反対者のレッテルを相手に貼り付け、言われる意見には頭っから否定していた私でした。クラブ内は嵐の日が続きま

した。最終的に締結にもっていき、IBC締結をいたしました。若かった、今になって考えるとそう思います。聞く耳を持たなければならなかったのは、反対者の意見であり、賛成者の意見には気持ちのいい言葉、耳触りのいい言葉が並びます、その意見を冷静に聞き、違った角度からその意見を見てみる必要があったと今頃後悔しています。もっと丁寧に時間をかけてクラブ内をまとめ上げていればよかったとも思います。また、先述のように素晴らしい三役が私にはついていてくれました。当然委員長もです。それなのに私はそんな素晴らしい人を使いきれなかった、いい道具が揃っているのに、その道具に足りない腕と、浅い知恵しか私にはなかったということです。

もしも、三役を中心に各事業委員長の皆さんに対して、うまくクラブ内をまとめていただけるように動いていたならば、彼らはきっといい仕事をしてくれたことでしょう、クラブも二つに分かれることはなかったと思います。人の使い方が本当にまずい会長でした。(それは京都部長としても同じでした。成長のない奴です。)[「ワイズメンズクラブは何もしてくれない、自分がクラブに何ができるか、」そんな言葉を常に持ち、自分が知っていることをひけらかすのではなく、それを必要とされれば皆さんに伝える、それは押し付けではなく、求められれば素直におごることなく手渡すことが必要なのだと、25年経って思います。

今私は月のうち半分を広島で仕事をしています。環境という仕事を曲げることなく積み重ねてきた結果、求めてくれる人たちがおられ、その仕事に没頭しています。人も雇い、専門グループを作り上げた結果、間口を広げた分、仕事の質も変わってきました。これも、人を使う、仲間づくり、人と人との交流など多くを教えていただいたワイズのおかげと思っています。プリンスに感謝、ワイズに感謝です。ありがとうございました。

会長主題

全ての者が  
一つと成る為に

みんな仲間  
生涯の友となろう！

会 長 岡西 博司  
副会長 小野 敏明  
三村 良行  
書 記 西村 博  
会 計 荒木 利彦

強調月間

Menetto

9月 例会案内

**11日(日) 京都部部会**  
福知山市三段池公園総合体育館で「スニーカーを履いて、爽やかな汗キリ」をテーマに、ユニカール等の競技に参加し、競い合う部会が開催されます。京都駅から送迎バスも運行。

**21日(水) 通常例会**  
YMCAキャンプリーダーと語らおうという事で、サバエキャンプのリーダーを数人お招きして、今後のサバエキャンプについての夢などをお聞きます。

例会出席

8月第一例会	10名
8月第二例会	8名
在籍者数	14名
広義会員数	2名
出席率	91.6%

BFポイント

切手	Opt
現金	0円
累計	0円

ファンド

スイカ	82,650円
累計	82,650円

ニコニコ

8月第一例会	1,000円
8月第二例会	0円
累計	2,000円

## 第二例会 青い空と白い雲のキャンプ

2011.8.20-21

岡西 博司

今年度、我クラブの例会として青い空と白い雲のキャンプを取り上げた。いろいろと問題はあったかも知れないが、私としては是非メンバーのみんなに、このキャンプを体験してもらいたかったのである。「日頃病気の為に一般の団体活動には少し参加しにくいと感じている子供達に感動的な自然との出会い、仲間との語らいをしていただくそして、子供達とリーダーで協力して生活する事を通じて、多くのことを学び、力強い自信に繋がるひと夏の経験になることでしょう。」これが、このキャンプの目的である。

今年の参加者は23名の子供達である。それに京大病院・京都府立病院の小児科の先生方10名、両病院の小児科の看護師長はじめ看護師の方々10名、YMCAのリーダー達、そしてリーダーOB・OGのメンバー・YMCAのスタッフ、気球を上げてくれるメンバー達、そして我々ワイズメン達。総勢80名を超える大所帯である。今年で9回目、凄いいプログラムになったものである。

今年は、8月20日(土)～21日(日)の一泊2日のキャンプである。今回、私は、グループ付きということで、初日の朝8時から最後まで子供達と行動を共にさせて頂いた。担当は第5グループで五人の子供達とリーダー、看護師、総勢10名で寝起きから全て一緒である。

琵琶湖でミシガンに乗り、はじめ硬かった子供達も次第に馴染んでくれ、スーパーでの買い物の頃にはすっかり打ち解けて、夕食時やナイトプログラムの頃には大はしゃぎで、水鉄砲での水かけあいでシャツはドボドボになっていた。

翌朝は気球に乗る予定であったが、雨のため中止と決定されたが、6時過ぎに雨がやんだのを見て、すぐに決行となった。ほんの一時ほどしか晴れ間は無かったが、気球のスタッフの皆さんのおかげで、子供達は全員乗ることができ、本当に良かった。

今年は天候が悪く、初日から雨にたたられていたが、全てプログラムを行う事が出来、逆に炎天下ではなかった事が良かったとの声も聞かれた。我クラブからは、廣井・森・三村・永濱ワイズが初日に、翌朝は三木ワイズと小野ファミリーも来てくれたのですが、気球の雨天中止報告を受けUターンされた。次年度には、メンバー全員が揃って、このキャンプを応援できる事を心より願ってやまない。そしてみんなで打ち上げまで参加したいものである。

松田 博一

今年も、8月20日(土)と21日(日)の二日間、滋賀県野洲市佐波江町のサバエキャンプ場で「青い空と白い雲のキャンプ」がおこなわれた。参加者は小学校1年生から高校生まで、男女合わせて23名の子供たち、スタッフを合わせると90名を超える人数であった。スタッフの多さに驚かれる方も多いと思う。実は、参加している子供たちの多くが、大変重い病と闘っているのである。そのため、ドクター、看護師を含め20名以上の医療スタッフが参加しているのである。

キャンプ一日目、京都駅八条口よりバスで天津港に向け出発。天津港よりミシガンに乗船した。例年は、直接キャンプ場に入っていたが、体温調節の苦手な参加者がいるため、暑さの問題がいつも我々を悩ませていた。そこで、今年は暑さ対策を兼ねて、日中の暑い時間帯の過ごし方に工夫がなされた。天候の加減もあったが、湖上は大変過ごし易く、みんな琵琶湖遊覧を満喫していた。その後、キャンプ場置換のスーパーで、二日目の昼食(野外料理)の買出しをおこなった。これも、前述の暑さ対策を兼ねたプログラムである。

夕方、涼しくなってきた頃にキャンプ場に到着。先発隊でサバエに入っていたワイズメンのスタッフと合流した。すでに夕食パーティーの用意も始まっている中、参加者はシャワー、クラフト作りに取り組んだ。夕食が始まる頃には、あいにくの雨模様となり、夜のゲームプログラムはメインホールと食事テントを利用しておこなわれた。しかし、子供たちは元気である。我々の心配をよそに大いに楽しんでくれていた。明日の朝の天気のことを忘れるくらいに・・・。

二日目の早朝、やはり小雨が降っていた。このキャンプのメインプログラム、熱気球の準備ができない。久保田ディレクターの判断は中止。我々も仕方ないと諦めかけたとき、なんと雨が止んだ。外に出ていたスタッフが互いに顔を見合わせ、そしてその視線は久保田ディレクターに向けられた。誰かが、「決断するのなら今ですよ。この後、雨が降っても誰も文句は言いません。」という言葉を出した。「よし、やりましょう。」熱気球の決行である。結局、雨が止んでいたのはこの間の一時間だけ。全員が気球に乗り終えた頃には大雨になっていた。気球スタッフの皆さん、ほんとにありがとうございました。

「青い空と白い雲のキャンプ」今年も青い空は無かったけれど、今年も皆の笑顔が眩しい夏のキャンプであった。



## 第一例会 設立25周年記念事業準備例会

2011.8.3  
プリテン担当者



連日、33度を超える猛暑の中、8月第一例会は、今期後半の2月に開催が決まっているプリンスクラブ設立25周年記念事業について、メンバーからヒアリングを行なう例会として開催されました。

まず西村実行委員長から、叩き台となる案が呈示されたのですが、メンバーの意識との間には、ギャップがあったようでした。メンバー数を30人に増やして今期に引き継ぎ、盛大に25周年を祝おうという思惑が夢と消えた今、メンバーは消極的にならざるを得ない様子でした。そんな中、初代会長の廣井ワイズが、メンバー数は設立当初の半分以下になってしまっているが、「プリンスクラブここに有り」と思わせるような設立記念例会にしたいと、発破を掛けられました。

また、会長からは記念事業としてYMCAへ何かアクトがしたいとの声も上がり、10周年記念事業として炊事棟を建設し、この25年間プリンスが関わってきたサバエキャンプ場に、必要な何かをしてはという意見が出て、子供達の未来に関わる事をモットーとするプリンスには、ふさわしい記念事業になるのではとのセコンドも出しました。

記念例会は、現状の資金面を考慮し、お金のかかるゲストスピーカーは呼ばずに、手作りの記念パーティーで、祝福に来ていただいた人をもてなすことを考えようという事で皆の気持ちは一致。

当初、消極的だったメンバーの意識も高揚し、今のプリンスが持てる力を出し切って、設立25周年記念事業を成功させようとの思で、例会は終了しました。

### 掲示板より

三木貴夫

お盆休みの初日(8月13日)に比叡山に登りました。京都市の西の最高峰愛宕山を征したら、やはり次は東の最高峰比叡山でしょう。修学院のキラ橋から登り始めケーブル比叡駅を経由し、今は懐かしいスキー場跡を横目に比叡山頂に到着。帰路は延暦寺根本中堂を経由して元来た道を下山。約15キロほどの行程です。朝7時に登り始め、下山は11時30分。結構ハイペースだと思います。今回の同行者は府立体育館のジムで知り合った方で登山歴30年程のベテランの方です。年齢は僕より10歳も上ですが、歩くのがすごく速い。付いていくのが精一杯でした。それにしても最近の山道具はすごく良くなりました。第一に靴が軽い。色んなハイテク素材を使っているので、防水性も完璧です。それに加え、ここ数年の間に浸透し始めた、トレッキングポールなる物。まあ早い話がスキーのストックの登山バージョンですが、上り下りに大活躍。特に下りの急坂ではとても助かります。さあ来月からはよいよ京都一周始めます。とても楽しみです。



### サンライズだより

8月の第一例会は、山手センターが休館のため、小山亭で持ち寄りの納涼例会を開きました。ゲストを含め10名の寂しい例会でしたが、人数の少ない

分中身の濃い例会になりました。ゲストに国立リハビリテーションセンターの廣瀬さんが見えていて、御園生会長と車椅子とか義足の話で盛り上がりました。「空飛ぶ車椅子」運動と言うものがあり、工業高校の生徒が中古の車椅子を修理して、ボランティアが手荷物として途上国へ運ぶ活動で、以前から御園生会長がサンライズでも参加したいと言っていました。また、身近で義足のお世話になっている人がいて、途上国の子供たちに義足を送りたいと思っていたそうで、廣瀬さんと話し合ううち、日本の中古の義足では現地でのメンテナンスがとても追いつかないだろう、いっそのこと人を呼んで、日本で義足作りの技術を習得させ、現地での義足作りの援助をした方が良いのではないだろうか、と言う話になりました。とは言うものの、人を呼ぶということは交通費、滞在費、学費等、生半可なことでは追いつかない費用が掛かり、とてもサンライズだけでは出来そうもありません。サンライズの今後の目玉の事業にするべく、時間をかけて、廣瀬さんにもご協力いただき、調査・検討することにしました。

### 西条だより

今朝犬の散歩をしていましたら、赤とんぼが飛んでいました。暑い暑いと思っていましたが、季節は秋に向かっているのですね。

27日西中国部でEMCシンポジウムが開催されました。EMC事業主任の参加を頂き、パネルディスカッションをし前向きな意見が出て、今期100名にする意気込みに燃えました。我がクラブも15名を目標に頑張ろうとおもっています。一人一人がその気にならないと達成はできません。とにかく15名にござって、酒まつりの件ですが、2日目岩国に宿泊したら岩国のメンバーに岩国ビジネスホテルの経営者がおられます。駅の近くですし、よろしければ紹介いたします。



東日本大震災発生直後より、海外のYMCAから、被災者を励ますメッセージや、寄付をはじめとしたさまざまな支援の申し出が寄せられました。数年前に地震や津波といった災害に遭ったばかりの国や、最貧国といわれている国々からの思いのこもったものもありました。その中で、パレスチナ・ガザ地区の子どもたちからのカードの1枚には、イスラエル軍による攻撃によって破壊された家の前に座る子どもの絵に添えて「私には安全に生きる権利がある」とアラビア語で書かれていたそうです。

1990年に発効した国際条約『子どもの権利条約』には、「すべての子どもは、生きる権利をもっています」ということとともに、「子どもに関係のあることを行うときには、子どもにもっともよいことは何かを第一に考えなければなりません」ということが書かれています。

この夏も全国各地のYMCAでは、東日本大震災で被災した子どもたちやその家族を対象としたキャンプやレクリエーション活動も多く行われました。身近な人を亡くした方、家や学校、仕事を失った方、そして地震や津波、原発事故の影響で、自らの生活環境を変えざるを得なくなった方々が、ひととき日常を離れて楽しい時間を過ごしました。

参加した方々のたくさんの感謝の気持ちが込められた感想やレポートも読ませていただきました。YMCAの働きとキャンプの力の偉大さを再認識するときでもありました。しかしそれと同時に、被災した方々の抱える課題の大きさも感じざるを得ませんでした。

子どもたちを含む、被災された方々が不安を抱えていたり、希望を見いだせないでいる時に、私たちの経験と知恵を大いに活用して、子どもたちの生きる権利を守ってあげることができればと考えています。

## YMCA NEWS

### 1. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受けつけ開始に備えて、募集活動を実施中です。

#### 【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。

・7年連続(2005年～2011年春)就職率100%達成!

・2012年度入学者は卒業と同時に介護福祉士国家資格取得(国家試験免除)

#### 【社会福祉士科(通信課程、1年9ヶ月)】

確かな技術や知識に基づいて、社会福祉業務に携わる社会福祉士を養成します。

・働きながら社会福祉士を目指せます。(通信課程、1年9ヶ月)

・「社会福祉士」国家試験受験資格を取得

皆様からご紹介くださった方が本校を受験される場合は受験料(20,000円)を免除させていただきます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させていただきます。

お問い合わせ等がございました際は、専門学校辻中康宏までご連絡をお願い致します。

電話075-255-3287 FAX075-255-2805

／e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

### 2. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月8日(木) 午前10時より一般の方の後期募集がはじまります。

お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもごさいます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話(075)231-4388

スイミング・体育 電話(075)255-4709

### 3. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第56回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 9月17日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円

※お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

またはvb@kyotoymca.or.jp

## 9月 スケジュール

- 9日(金) 京都部交流事業懇談会  
19:00 一休
- 11日(日) 京都部部会  
福知山市三段池公園総合体育館
- 14日(水) 三役会 会長宅
- 16日(金) 京都部広報事業懇談会
- 17日(土)～19日(月)  
マイマイ秋キャンプ  
大津市葛川少年自然の家
- 21日(水) 第二例会  
19:00 グランドプリンスホテル
- 28日(水) 役員会  
19:30 京都YMCA

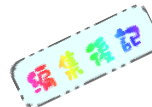
## 役員会報告

今月の審議事項は、なし



Happy Birthday

9月14日 藤尾 実ys



お盆休み明け、曇りがちな日が続く暑さもしのぎやすくなったのですが、夏休みも終わりに近づいてから、また猛暑が帰ってきました。

今月号からウエルクラブとの併設号として発刊できるようになり、今期プリテンの当初の目的を達成できる事となりました。